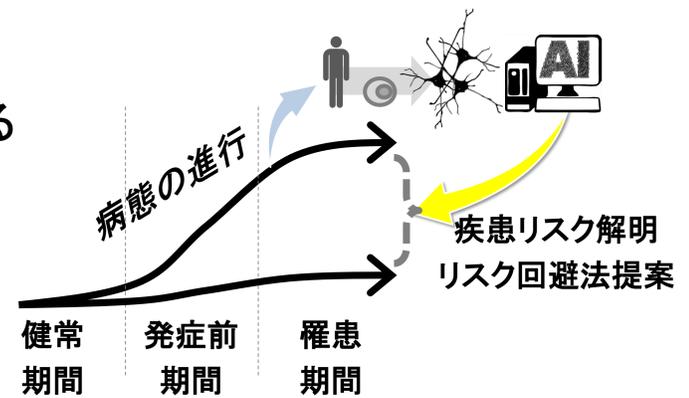


## チームミッション

京都大学iPS細胞研究所 (CiRA) との連携により、社会的急務となっている超高齢社会で増加する疾患のリスク予測と回避のための基盤開発。

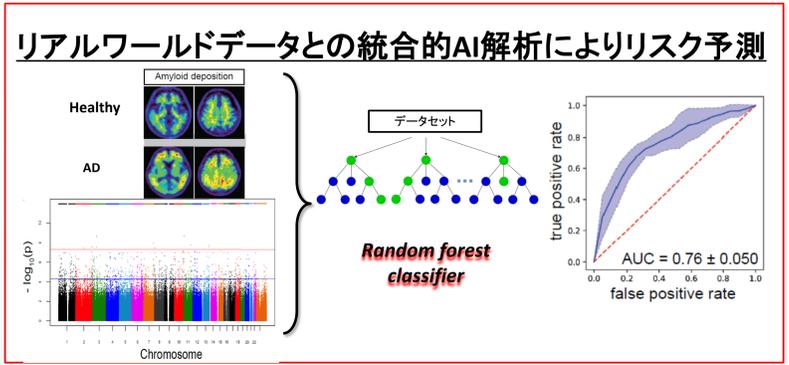
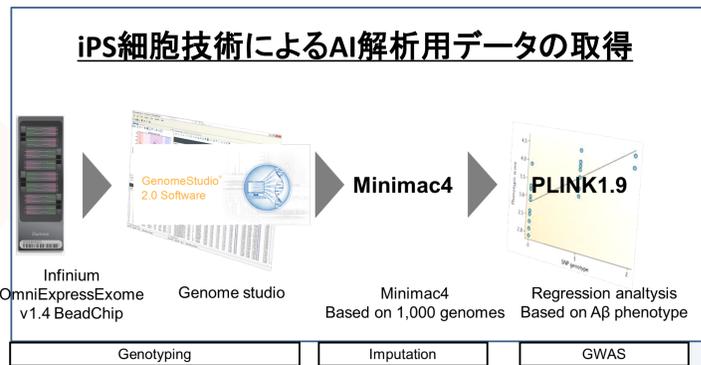
AI技術により、アルツハイマー病などの超高齢化社会で増加する疾患のリスク予測と回避の可能性を向上や、再生医療用の高品質なiPS細胞の蓄積を目指す。



## 今年度の主要成果

### 認知症を予測可能なAI: CDiPの展開と社会実装

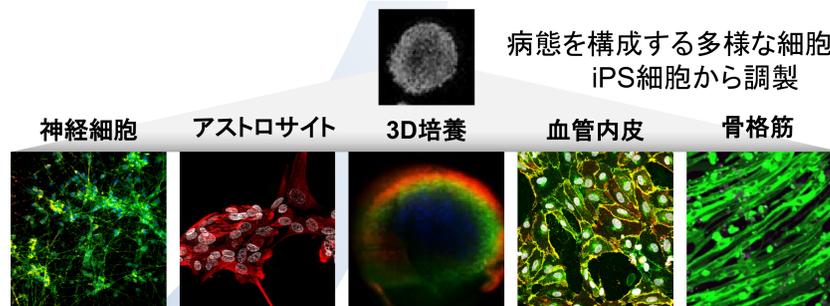
#### CDiP 1.0



Kondo et al., Nature Aging, 2022; Kondo et al., Journal of Human Genetics, 2022

#### CDiP version 2.0: 今後 多細胞種に展開し統合理解を目指す

#### CDiP 2.0



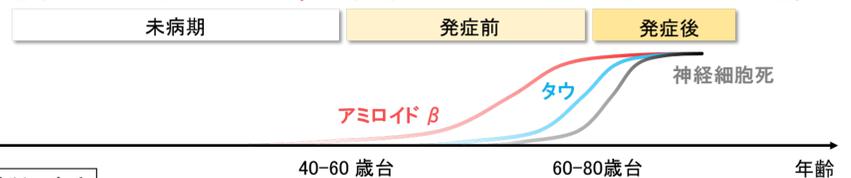
疾患表現型データ

AI解析

Kondo et al., in preparation

CDiP重要性: 全ライフステージに有効な予測・診断・治療情報提供

“現実味を帯びている抗アミロイドβ抗体療法の適切な対象者をCDiPにより選択できる”



予測・診断の方法

CDiP

血漿 / 脳脊髄液

MRI / PET

治療標的

SNPを標的とする遺伝子治療

既存薬やサプリメント

抗体医薬

対症療法

複雑な認知症

AIによる認知症再構築

認知症リスク予測の高精度化  
「生まれた時点でリスク予測」が可能となった

社会実装

## 今後の予定

- CDiPテクノロジーの社会実装に向けた基盤整備。
- 高齢化疾患難病モデルの分子病態予測。